

2003年4月22日

東京外国為替市場委員会 第62回 会合議事録

開催日時	2003年3月26日 13:00～15:15
場 所	日本銀行本店新館 9階大会議室
議 長	荻野 哲司 (東京三菱銀行)
副 議 長	小林 和成 (ス・ト・ス・ト銀行)
副 議 長	加島 章雄 (みずほコーポレート銀行)
書 記	川添 敬 (日本銀行)
参加委員数	17名 (別紙)

委員選任の件

- (1) 委員選任に先立ち、加藤運営小委員長(野村證券)より、当委員会委員の選任手続きについて説明があり、今後も「一金融グループ委員」といった基準は設定せず、運営小委員会が市場委綱要の趣旨を踏まえ、立候補者の経験・能力・意欲、所属機関のサポート等を検討したうえで本会合に推薦する枠組みが提案され、了承されました。
- (2) 荻野議長(東京三菱銀行)より、以下の点が報告されました。市川 CLS 小委員長(みずほ銀行)の委員としての任期(2年)が満了したこと、及び、市川委員から再任のため立候補する意思が示されたこと、石川委員(EBS ディーリング リーズ ジャパン)より辞意が表明されたこと、先の金上委員(三菱信託銀行)の辞意の表明と、石川委員の辞意の表明を受けて、委員の公募を行ったところ、下記の方々から立候補者届があったこと。
- 武田 敬一郎(三菱信託銀行)
大木 一寛(EBS ディーリング リーズ ジャパン)
- これらを受け、各立候補者の提出書類に基づく審査、所信表明を経て、委員による投票が行われた結果、各立候補者とも全会一致で選任されました。
- 委員選任後、法律問題小委員長辞任、CLS 小委員長任期満了に伴う、両職の選出が行われ、武田委員が法律問題小委員長、市川委員が CLS 小委員長に立候補し、全会一致でそれぞれ選任されました。
- (3) 加藤運営小委員長より辞意が表明され、これに伴い運営小委員長の選出が行われ、野手委員(三井住友銀行)が立候補し、全会一致で選任されました。

Code of Conduct 改訂

中島小委員長（スタンダード・チャータード銀行）より、改訂版 Code of Conduct のドラフトに関し、以下の変更点について説明があり、承認されました。これをもって、改訂版 Code of Conduct のテキスト部分が正式に採択されました。

- ・ 仲介業者経由取引において firm price を提示するディーラーの取引金額の明示について定められていること（現行 Code14 条）に対応し、firm price を hit する側による取引金額の明示についても定めることとする。

また付録に関しては、付録 1 「NDF に特有の用語」については Code of Conduct 小委員会案を NDF 小委員会で検討し、（1）「誤解されやすい用語の例」については各委員からの意見を集約し、付録 2 「取引の基本動作と留意点」については小委員会案を作成し、以上 ~ の結果を次回以降の本会合に諮る、という方針が示されました。

この他、改訂版 Code of Conduct の英訳原案の作成については、先に本会合で承認された金額内で、小委員会が業者の選定等を進めることが承認されました。

各小委員会活動報告

各小委員会より、活動状況について以下の通り報告及び提案がありました。

（1）CLS 小委員会

市川小委員長（みずほ銀行）より、以下の通り報告及び提案があり、承認されました。

- 1) CLS 銀行のメインシステムがダウンし、その後決済が当日中に完了しなかった件につき、小委員会として「当該トラブルの原因や経緯を説明した書面」の送付を CLS 銀行東京支店に要請することとしたい。
- 2) 「CLS 導入にあたっての諸考察」に対するコメントをロンドン市場委より受領。全体としてポジティブなものであるものの、1 - (3) 「電子ブローキング利用における留意点」の下記英語版の表現につき、「電子ブローキングシステムの決済情報の更改はあくまで自発的なものであり、“must”という言葉は表現として強過ぎるのではないか」との指摘をロンドン市場委員会から受領した。

・ 英語版：1.3 “CLS member banks must update settlement information in their electronic brokerage systems in advance; ”

・ 日本語版：1 - (3) 「CLS 導入に際し、参加行は電子ブローキングシステムの決済情報を事前に更改する必要があるが、決済処理における不測のトラブルを避けるために、十分な事前準備と堅確な対応が求められる」

これに対し、小委員会としては、英訳の段階でやや強めのニュアンスとなっていたことが上記のような指摘の原因であるとみられることから、英文の当該箇所をより適切な表現に改めると共に、その旨を説明したレターを送付したい。

（2）運営小委員会

加藤前小委員長より、以下の通り報告及び提案があり、承認されました。

- 1) 新委員の小委員会参加に関しては、武田委員は法律問題小委員会（委員長）の他に Code of Conduct 小委員会に、大木委員は教育・CLS 小委員会に、それぞれ参加してもらいたい。
- 2) 香港市場委員会から、当市場委員会について照会があり、小委員会として綱要等を

もとに回答を準備したい。

- 3) Code of Conduct 改訂における、今後の継続的な情報収集作業・検討作業の必要性に鑑み、Code of Conduct 小委員会を常設小委員会としたい。

(3) 広報小委員会

中田オブザーバー(日本銀行)より、外部から当委員会ホームページへのリンクの設定に関する依頼を受けた場合の判断基準として、以下を採用したいとの提案があり、承認されました。

「基本的にインターバンク市場参加者のオフィシャルページから本委員会の URL へのリンクは原則自由とし、インターバンク市場参加者以外のホームページからのリンクは本市場委員会の理念、役割、公共性などを踏まえ個別判断する。」

一方、特定の主体が一方向的に当委員会ホームページにリンクを設定することは、事実上抑止できないことも指摘され、企業等の宣伝に利用されないための対策を検討することとなりました。一つの案として、市場委員会綱要第3条に記されている当委員会の目的をホームページに掲載することが提案されました。

(4) 教育小委員会

今井小委員長(UFJ 銀行)より、今春のセミナー開催について、次回本会合に諮りたい旨、報告されました(テーマは未定)。

(5) NDF 小委員会

稲村小委員長(シティバンク)より、以下の報告がありました。

1) 海外アンケートについて

送付14行に対し、回収は4行。

回答先は全て NDF 取引行。顧客の減少を指摘する先はなく、全行が将来的にも NDF 取引を増やす予定。将来について楽観的に考える先は3行。

国内同様、通貨別では韓国ウォン、台湾ドルの取引が多い。

NDF 取引にあたっては、全行がブローカー経由と DD を併用。

全行でレターコンファメーションの利用を行っており、うち半数は SWIFT を併用。

先方からの署名付きコンファメーションレターの返送率は低い。自行からの返送率も低い。日本同様、返送の必要性への認識は低い。

コンファメーション標準化には3行が賛成。NDF 条項のマスターアグリーメントへの取り込みには、半数が賛成。残りの半数は関心が低い。

2) 今後の予定について

次回小委員会で、海外アンケートのフォローアップにつき議論する。

海外の市場委員会の連携方法について検討する。

. その他

その他、以下の報告、決定等が行われました。

- (1) 川添書記(日本銀行)より、「シドニー月曜5時問題」(月曜日のシドニー早朝5時から取引が行われることで、取引量が極端に少ないなか、オプションのトリガーやストップロスに絡んだ不自然な値動きが観察されると指摘されている点)について、オーストラリア側で行った分析について説明がありました。また、本件に関する市場動向の実態調査は、今後は市場調査小委員会で取り扱われることとなりました。

- (2) 外部照会への対応に関しては、「照会内容を担当する小委員長が回答し、本会合で事後報告する」、「小委員長が小委員会での検討を経て回答し、本会合で事後報告する」、「小委員会案を本会合に諮り、承認を得て回答する」の3通りがあること、及び、以上のどの対応を取るかの判断については小委員長に一任されることが確認されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(3月26日現在)

<委員>

議長	荻野 哲司	(東京三菱銀行)
副議長	加島 章雄	(みずほコーポレート銀行)
副議長	小林 和成	(アトーストリート銀行)
書記	川添 敬	(日本銀行)
運営・Eコマース小委員長	野手 弘一	(三井住友銀行)
広報小委員長	神田 紀昭	(QIター・ジャパン)
教育小委員長	今井 雅人	(UFJ 銀行)
法律問題小委員長	武田 敬一郎	(三菱信託銀行)
CLS 小委員長	市川 亨	(みずほ銀行)
NDF 小委員長	稲村 秀彦	(シティバンク)
Code of Conduct 小委員長	中島 尚彦	(スタンダードチャータード銀行)
	加藤 博光	(野村証券)
	花生 浩介	(ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド)
	梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
	竹川 雅祥	(メリレンチ日本証券)
	伊藤 一雄	(トウキョウフォレックス上田ハーロー)
	大木 一寛	(EBS ディーリングリソースジャパン)

<オブザーバー>

野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
中田 勝紀	(日本銀行)
居村 元	(東京三菱銀行)
竹中 浩一	(みずほコーポレート銀行)

(注) 敬称略(順不同)。 は今回出席。